

第14回

新潟市医師会 地域医療研究助成発表会

日時：令和8年1月24日(土) 14時30分から18時10分

開催形式：Zoomミーティングによるオンライン開催

参加方法：事前申込は不要です。下記URLもしくは右記二次元コードにアクセスし、Zoomにご参加ください。

URL：https://us06web.zoom.us/j/84754910488?pwd=Xh99zt2uDqGCBUb2Lviz9OnHlumR2Z.1

(ミーティングID：847 5491 0488 パスコード：053004)

●Zoomの表示名は、氏名及びご所属「氏名(ご所属)」としていただきますようご協力をお願いいたします。

●発表会資料は、1月中旬頃に新潟市医師会HP (<https://www.niigatashi-ishikai.or.jp/medical/subsidy.html>) に掲載予定です。



14:30

開会挨拶：新潟市医師会長 岡田 潔

発表
1

座長：廣瀬 保夫(新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)

「新潟市および周辺地域における消化管出血の実態調査と出血便画像のAI評価による出血部位予測モデルの開発」

唐 千晴 先生(新潟大学医歯学総合病院 消化器内科)

発表
2

座長：高橋 英明(新潟県立がんセンター新潟病院 脳神経外科)

「くも膜下出血患者における神経損傷の予後を判定する新規バイオマーカーについての検討」

吉田 至誠 先生(新潟大学脳研究所 脳神経外科)

発表
3

座長：大倉 裕二(新潟県立がんセンター新潟病院 内科(腫瘍循環器科))

「循環器病患者における健康寿命悪化予測式の構築へ向けてーレセプトデータを用いた診療実態調査ー」

藤木 伸也 先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学)

発表
4

座長：丸田 秋男(新潟医療福祉大学)

「独歩リハビリテーションのDX化ーデータベース解析に基づいた多職種連携の在り方を求めて」

小田 憲一 先生(新潟南病院 リハビリテーション部)

発表
5

座長：江部 和人(こころはすクリニック)

「新潟市在宅医療ネットワークの活動評価ードナベディアン・モデルによる連携の構造・過程・結果の分析」

鎌田 剛 先生(新潟医療福祉大学 医療経営管理学部 医療情報管理学科)

発表
6

座長：関 奈緒(新潟大学大学院保健学研究科 看護学分野)

「新潟発診断未確定関節炎に対する地域連携ネットワーク構築のさらなる発展への試み」

近藤 直樹 先生(新潟大学医歯学総合病院 整形外科)

発表
7

座長：上所 美樹子(新潟市 福祉部)

「AIとライフログデータを活用したフレイル早期検知と予防を支える包括的エコシステムの構築」

井上 達朗 先生(新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科)

発表
8

座長：高橋 美徳(びとく整形外科クリニック)

「新潟市かかりつけ診療所における骨粗鬆症診療の実態と新たな地域連携の取り組み」

堀米 洋二 先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座)

発表
9

座長：田辺 匡史(新潟市 保健衛生部)

「新潟市医療圏における循環器診療連携の構築」

高山 亜美 先生(新潟大学医歯学総合病院 循環器内科)

発表
10

座長：山崎 哲(新潟市保健所)

「入院を必要とする小児ウイルス感染症の流行予測における下水サーベイランスの有用性の検討」

羽深 理恵 先生(新潟大学医歯学総合病院 小児科)

特別
講演

座長：井口 清太郎(新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座)

「プライマリ・ヘルス・ケアでもできる研究を考えてみよう…疫学研究、介入研究、教育研究」

高村 昭輝 先生(富山大学 医学教育学講座 教授)

閉会挨拶：新潟市医師会副会長 山本 泰明

背景の新潟病院(明治6～10年に撮影)は、新潟での近代西洋医学発祥の地

新潟大学大学院特別講義 ・ 新潟県医師会生涯教育講座※

※取得単位:3.0単位 カリキュラム内容:[1] 医師のプロフェッショナリズム [11] 予防と保健 [12] 地域医療 [13] 医療と介護および福祉の連携 [19] 身体機能の低下
詳細は新潟市医師会HPをご参照ください。(http://www.niigatashi-ishikai.or.jp/medical/subsidy.html)

申込み・問合せ

新潟市医師会事務局 坂本・本望

TEL:025-240-4131/FAX:025-240-6760/メール:niigatashi@niigata.med.or.jp